

令和7年度すくわくプログラム活動報告

テーマ「 感触あそび 」

江戸川区船堀第三保育園

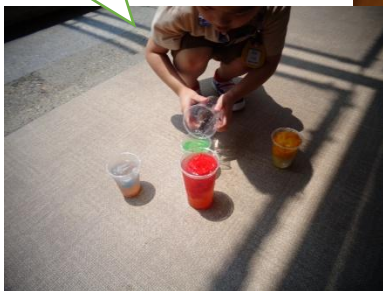


子ども達の姿を見ている中で、心地良いものに触れていることで、安心したり、気持ちが落ち着く様子がありました。そこで、感触あそびを経験することで、情緒が安定し更に好奇心が育っていくのではないかと考え、「感触あそび」をテーマに決め、年齢ごとに様々な素材に触れ楽しむことができました。

<触り心地いろいろ…>

氷…4歳児 冷たさを感じるだけでなく、おもちゃを入れた水を凍らせてみました。

おひさまに当てたら、溶けるかな？



どうやったら、おもちゃは出てくるかな～と興味を持ち、子ども達で考え始めていました。たらいに打ち付ける？水で濡らしてみる？外に出て、陽に当ててみる？など意見が出て、チャレンジしていました。

スライム…3歳 硬さの違いを経験する。

硬いスライムと柔らかいスライムを混ぜたら、だんだんむにゅむにゅになってきたよ。



ぷるぷる～もちもち～べろんべろんなど、色々な表現の言葉が自然に出てきました。

はてなボックス！？

～視覚ではなく、指先、手の平の感覚で、箱の中に入っているものを当ててみました～



何かな～？
あっ、わかった！
「ペットボトル～」

ピンポ～ン♪大正解！！
保育士とのこのやりとりも子ども達は大好きです。



<幼児 フィンガーペインティング>

何描こうかな～
あれ！！混ぜたら
紫になったよ～



夏の時期、ガラス窓やプールの中など普段と違った場所を使ってダイナミックに楽しみました。

手のひら、手の甲全体に絵の具を塗ってみたら・・・
「手袋になっちゃった～」とユニークな発想が聞かれました。



<乳児 センサーマット>



人口芝をハイハイで移動したり、座ってお尻で感触を楽しんでいました。

2歳児になると、指で触るといより、足の裏で感触の違いを味わっていました。



色々な素材や自然物に触れ1年通して楽しんできた感触あそびでしたが、個々によって好きな感触、苦手な感触があることに気づきました。子ども達は手や足の感触だけでなく、匂いや音など五感を使いながら遊びこむ様子が見られ、子ども達の言葉や想像力は保育士の想像をはるかに超えていました。その子の興味のある遊びをより深めていくことで、探求心や好奇心、表現力に繋がっていくことを実感しました。

保育士が遊びを設定、提供しながらも、子ども達の「なんでだろう」「こうしてみよう」という気づきや発見を尊重し、見守ってきました。感触あそびを通じた経験の積み重ねが、情緒の安定や集中力、言語力などの成長にもつながっていることを感じました。

保育士もワクワクした気持ちで、楽しさを共有する中で保育士同士が保育の方法や展開について話し合い、実践に繋がってきました。これからも、子ども達の主体性を大事にしながら、環境を整え好奇心や探求心を育てていきたいと思っています。